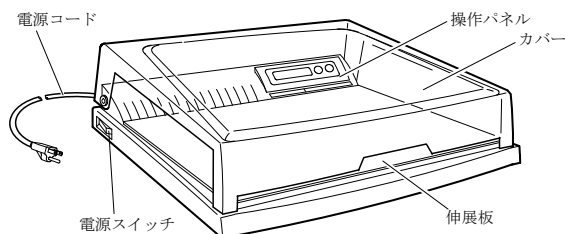
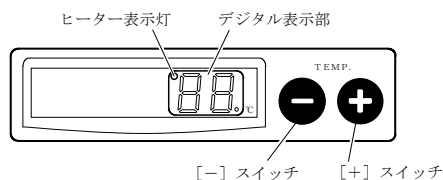


【形状・構造及び原理等】

【各部の名称】



本体



操作パネル

【作動・動作原理】

運転が開始されると、伸展版下部のヒーターによって伸展板が設定温度に保たれる。

伸展板に置かれたスライドガラス上のパラフィン薄切検体は、熱によって伸展される。

【仕様等】

型式：PS-53

本体寸法：478(W)×430(D)×122(H) mm

伸展板寸法：450(W)×322(D)×5(H) mm

本体質量：約5kg

温度設定可能範囲：35～70℃

※ただし周囲温度が30℃以上の場合、制御可能範囲は（周囲温度+5℃）～70℃

温度調節精度：±0.5℃

温度調節器：サーミスター電子制御式

スライドガラス積載枚数：68枚（スライドガラス寸法：26×76mm）

電氣的定格

電 圧：AC100V ±10%

周 波 数：50/60Hz

消費電力：230VA

【設置環境】

- 温度 10～40℃
- 湿度 30～85%RH（結露なきこと）
- 大気圧 70～106kPa
- 通風・換気が良く、チリ・ホコリが少なく、振動の少ない所に、水平でガタツキの無いように設置する。

*【使用目的又は効果】

病理標本作製において変形・収縮した薄切検体（切片）を伸展・さらにスライドガラス上へ確実に密着（乾燥）させる検体前処理装置。

【使用方法等】

【必要とする設備】

電源容量：2.5A以上

接地端子：D種以上

【使用方法】

以下の手順の詳細は取扱操作説明書の第3章をご参照ください。

- ① 電源スイッチを「ON」にする。
- ② カバーを全開にする。
- ③ [+]または[-]スイッチを押して、伸展板の温度設定を確認する。
- ④ 伸展板の設定温度を変更する場合は、続けて[+]または[-]スイッチを押して設定温度を増減する。
- ⑤ 伸展板温度が設定温度になったことを確認する。
- ⑥ 検体の伸展作業を開始する。
- ⑦ 伸展作業終了後、電源スイッチを「OFF」にする。
- ⑧ 伸展板が冷えた後に、伸展板の清掃を行う。

【使用上の注意】

詳細は取扱操作説明書の第1章および第3章をご参照ください。

【重要な基本的注意】

- ・ 設定温度によっては、伸展板は高温になるため、やけどに注意。
- ・ 動作異常時は電源を切る。
- ・ 電源プラグは接地端子付コンセントに接続する、または接地アダプターなどで必ず接地を行なうこと。
- ・ お手入れの際は電源を切る。
- ・ 装置の定期点検を6ヶ月ごとに行う。
- ・ 装置のカバー上には物を置かない。
- ・ 標本の伸展以外に使用しない。
- ・ 装置の周囲は適切なスペースを設ける。

【保管方法及び有効期間等】

*【耐用期間】

耐用期間：製造出荷後 8年[自己認証（当社データ）による]

条 件：取扱説明書及び添付文書に記載された取扱注意事項あるいは保守・点検に係る事項を順守し、定期的に日常点検・保守点検を実施すること。点検結果により、下記に示す主要な構成部品や保守点検事項に記載された交換部品を適切に交換すること。保守に用いる主要な構成部品は下表の通り。

主要な構成部品名	使用耐用年数
制御基板	5年
検出センサー	5年
ヒーター	8年

※ここに記載した装置の耐用期間及び主要な構成部品の

取扱操作説明書を必ずご参照ください。

使用耐用年数は保証期間ではなく、上記の条件を満たした場合での平均的な年数となるため、使用環境、使用方法などにより異なります。

【保守・点検に係る事項】

〔使用者による保守点検事項〕

詳細は取扱操作説明書の第3章をご参照ください。

・ 伸展板とカバー

使用後に、ゴミを取り除き、水でぬらして絞ったガーゼ等で拭いた後、乾いたガーゼ等でからぶきする。

清掃時は、伸展板が冷えるまで放置した後行うこと。

〔業者による保守点検事項〕

・ 特になし

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者

名 称：サクラ精機株式会社

電話番号：026-272-8381

製造業者

名 称：サクラ精機株式会社 長野本社工場

販売業者

名 称：サクラファインテックジャパン株式会社

住 所：東京都中央区日本橋本町3-1-9

電話番号：03-5643-2630（営業窓口）

機器の故障に関するお問合せ先：0120-392-874
(フリーダイヤル)